

大阪府立茨田高等学校 平成30年度第1回学校運営協議会 記録

出席者

協議委員…川村幸治、早坂三郎、藤田政治、寺野雅之、綿世良一、濱田陽子（敬称略）
学校…（校長）亀元政志、（教頭）藤原清隆、坂東哲、（首席）松井くみ子、（首席）西本敦史
記録…西本敦史

第一部

1. 亀元校長より挨拶

2. 自己紹介

3. 学校経営計画の説明

*平成29年度の学校協議会を受けての平成30年度学校経営計画に反映した点について

- 生徒が納得感を持つ生徒指導
- 遅刻の減少
- 基礎学力の向上
- エバ-ルデザイン授業（わかりやすい授業）の取り組み
- 生徒のコミュニケーション能力向上について
- 部活動加入状況について

4. 本校の取り組みについて（協議委員からの意見）

*地域のイベントに出演してくれるクラブ員の姿は、地域へのアピールになる。

イベントへの参加依頼にはどんどん応えてほしい。

*学校教育自己診断の“生徒が納得できる生徒指導”の項目の数値が低いことの具体的な理由や内容は分析されているか。生徒が指導に納得していないと感じたときの対応は。

→ 丁寧にやり、向き合うことを基本としてやっている。

また、多様化する生徒に対応していく必要も認識している。

*「カウンセリングマインドをもった指導」とあるが、「聞くことに主体をおいた指導」などの表現が適切ではないか。

→ 話を聞いてほしい子どもも多く、指導はもちろん普段から傾聴を心がけるように取り組んでいる。

*遅刻を減少させる罰だけではない具体的な方法も考えていく必要がある。

*わかりやすい授業の取り組みについて、生徒の状況に対して授業や学習評価をどのようなものに設定しているか。（わかりやすさや学習のレベルなど）

→ 京都教育大学監修の“困ったことアンケート”を実施予定。

第二部

議長…川村様

テーマ…「本校教育の全般について」

- * シャツ型の学校パンフレットの好評多数。
- * 昔（10年ほど前）の茨田高校と比べて年々改善してきたおかげで、今は茨田高校に対して信頼感をもっている。先生方の努力に非常に感謝している。
- * 先生方の意識もいい方向に変わったように感じる部分がある。
- * 近隣の小学校（小学生）からの、茨田高校に対する目線をおくといいのでは。やがて茨田高校に行きたいと思ってもらうように。
- * クラブ員との地域との関わりは、地域版茨田高校ツアーなどでできるかぎりやっている。少しずつでも広げていきたいと思っている。
- * 地域交流の機会に対しては、さまざまな面でどんどんバックアップしていきたい。
- * クラブ加入率を上げるためには、顧問の熱意によるところが大きい。クラブ顧問が中学校を回って部員を引っ張るようなことも昔はあったが。しかし、顧問の熱意にだけ頼っては限界がある。なんとかできる仕組みはないか。
- * ラグビー部を復活させられないか。
- * クラブ指導と働き方改革のジレンマがある。教員の負担だけに頼り過ぎているから。地域の方と協力してクラブ指導ができる体制を作ることができればいいが。

○協議のまとめ

もう一度足下を見直して、「子どものために」を合言葉に引き続きがんばってもらいたい。先生の努力が数字に表れて来た実感があり、嬉しく思っている。

○校長より謝辞